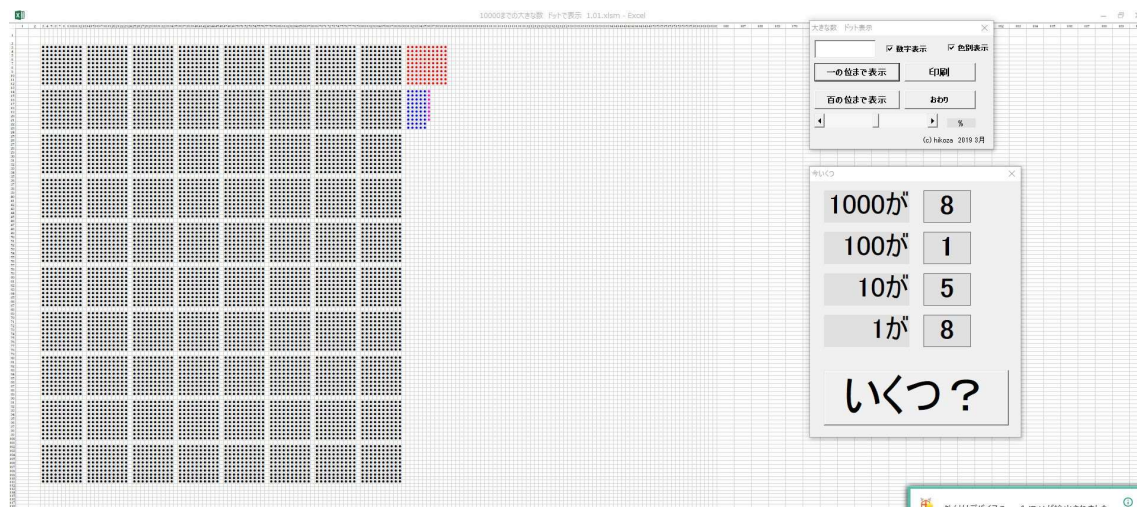


# 10000までの大きな数 ドットで表示 1.01 操作説明



一万までの数を、ドットで表示します。2年生の算数で、一万までの数の学習をしますが、その学習のために作ったものに手を加えたものです。

教科書にもそのドット図が載せてありますが、動きはありませんし、別の数字のドット図で練習しようにも自分で作成しなければなりません。そこで、短時間で多くの数で繰り返し練習できるようにと思い作りました。当初は、全部を一気に表示するだけだったのですが、今回は千のかたまり、百のかたまり、十のかたまりを表示したら表示を止め、そこまでの数を唱えたり数の確認ができるようにしました。例えば、数のかたまりを意識できるように、「千がいくつ」、「百がいくつ」、「十がいくつ」、「一がいくつ」というように唱えていきます。

大型のディスプレイやプロジェクターでスクリーンに映して、みんなで唱えながら数を確認していくと一斉にドリル学習ができます。A4用紙に印刷もできますので、プリントも作成できます。

## 特徴

- ① キー(エンターキーや文字キー)を押すと、千や百のかたまりを1つずつ描画  
子供たちが唱えるスピードに合わせて次のかたまりを表示  
子どもたちが唱えたら、キーを押して次のかたまりを描画
- ② かたまりを色を変えて表示(千:黒, 百:赤, 十:青, 一:茶)
- ③ ディスプレイのサイズに合わせて拡大・縮小表示
- ④ 繰り返して表示できるので、短時間で多くの練習が可能
- ⑤ A4用紙への印刷も可

## 備考

エクセル2013で作成しました。 マクロを含んでいます。

## 操作 起動

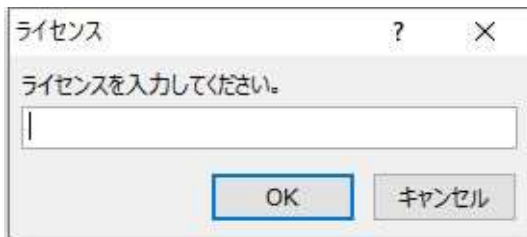
【図 1】

起動



OKボタンをクリック

【図 2】



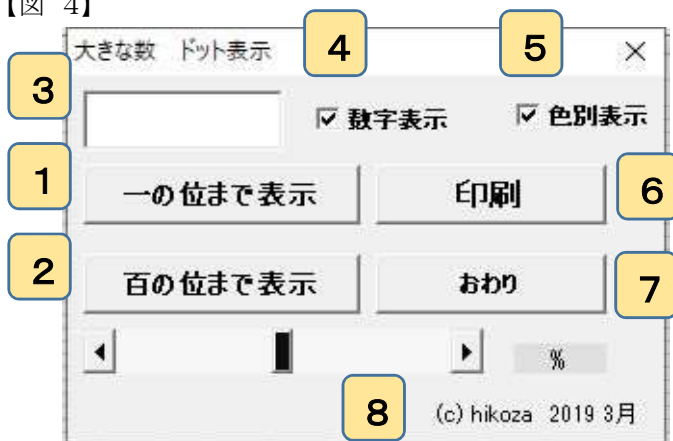
試用の場合は、キャンセルボタンをクリック  
試用期間は、7日です。

【図 3】



OKをクリック

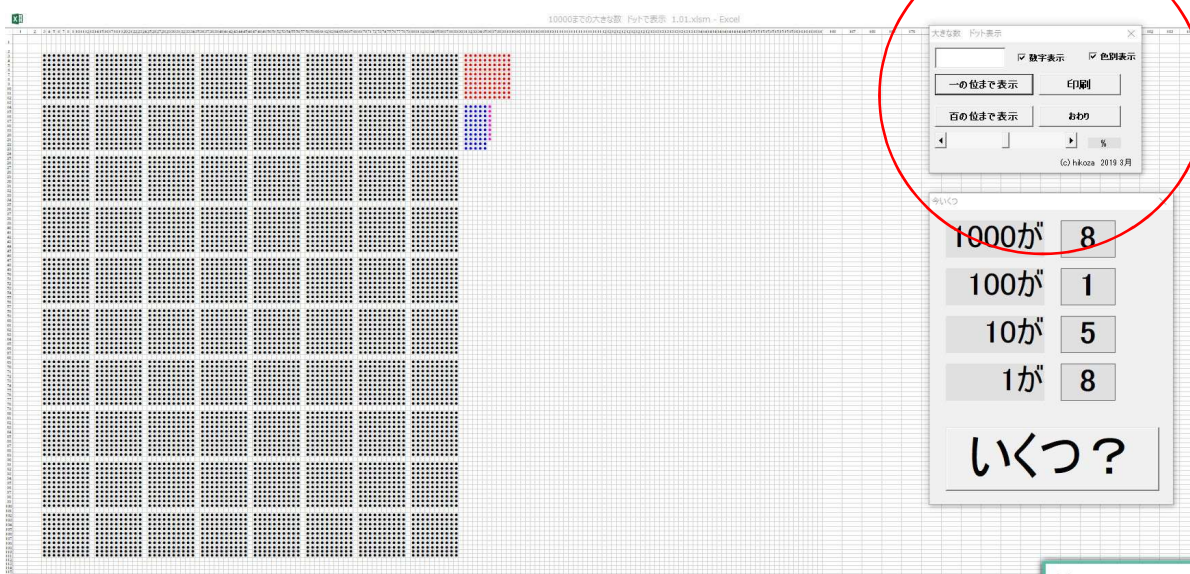
【図 4】



ボタン

- 1 9999までの一位数までの数字を表示(ランダム)
- 2 十の位一の位は0の数を表示(ランダム)
- 3 任意の数の入力枠
- 4 かたまりの個数表示の有無選択
- 5 色別表示選択(千 黒 百 赤 十 青 一 オレンジ)
- 6 印刷
- 7 保存して終了
- 8 拡大/縮小調節 (初期値45%)

【図 5】



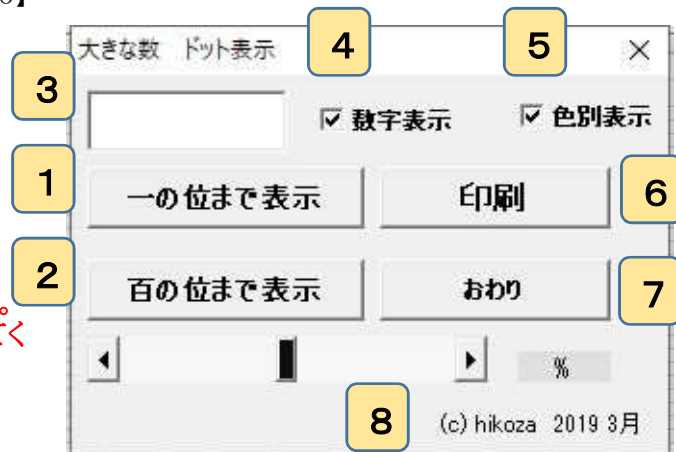
## 操作 ドットの表示

【図 6】

### ランダムな数の表示

① ②のボタンをクリック  
以後、描画が始まります。

Stop後の再開は、ENTERキーを押すだけです。  
次の数の描画も、引き続きENTERキーを押してください。



【図 7】



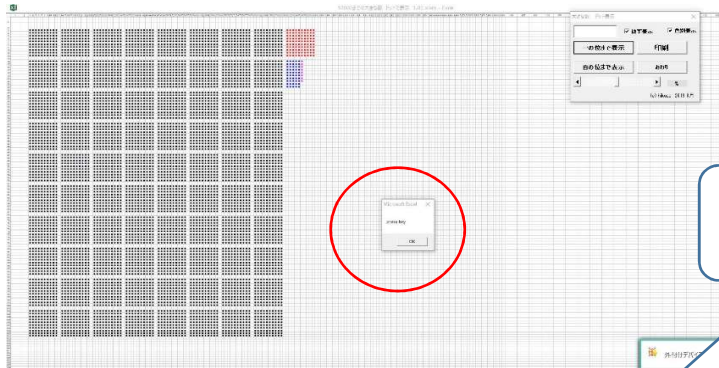
【図8】 表示は、千単位、百単位、十単位、一つずつです。

【図7】 最終ドットの時は、メッセージボックス表示

OKをクリック

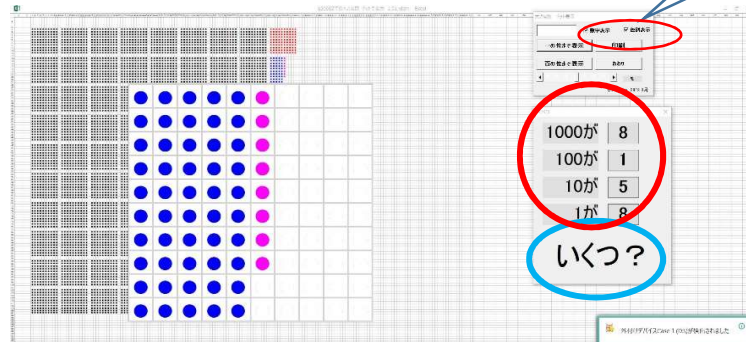
最後ですよのメッセージがないと、キーを押し続けてしまう。

【図 8】



数字表示選択ボタンで、表示/非表示  
の切り替えができます。

【図 9】



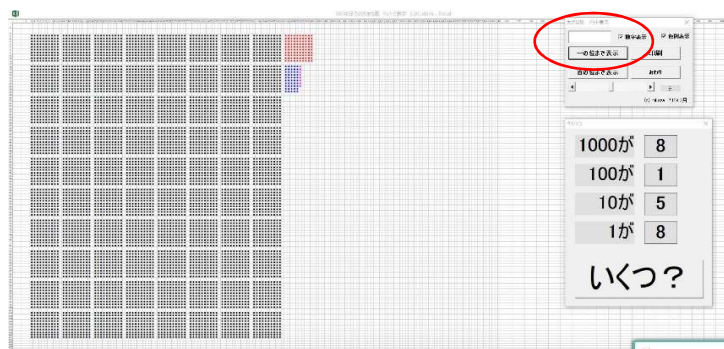
【図9】青枠の「いくつ？」が表示される。

「いくつ」ボタンをクリックすると、拡大図が表示されます。十と一の位の範囲を拡大して表示。もう一度クリックすると拡大図消去。

後は、ただENTERキーを押すだ



## 任意の数の表示



【図10】任意の数字で表示するときは、赤○で囲んだ入力枠に数字を入力してください。**最大値10000** です。入力したら、下のどちらかの表示ボタンをクリックしてください。